

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【公開番号】特開2011-172088(P2011-172088A)

【公開日】平成23年9月1日 (2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2010-35010(P2010-35010)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 17/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 3 B 17/00 Q

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 15/00 F

G 0 3 B 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部機器と通信を行う通信手段と、

前記通信手段を介して、前記外部機器から送付された画像データを表示する表示手段と

、

前記通信手段による通信状態に応じて、前記表示手段に表示する画像にフィルタ処理を行う処理手段とを備える

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電子機器において、

前記処理手段は、前記通信手段による受信レベルに応じて、前記表示手段に表示する画像にフィルタ処理を行う

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の電子機器において、

前記処理手段は、前記受信レベルが低くなるにつれてぼかし量が大きくなるフィルタ処理を行う

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 の何れか一項に記載の電子機器において、

前記電子機器と前記外部機器との関係を判定する判定手段とを備え、

前記処理手段は、前記判定手段の判定結果に応じて、前記表示手段に表示する画像にフ

フィルタ処理を行う

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電子機器において、

前記判定手段は、前記電子機器と前記外部機器との協働処理の回数に基づき前記関係を判定する

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 の何れか一項に記載の電子機器において、

前記通信手段を介して、前記外部機器とのペアリングを行うペアリング手段とを備え、

前記処理手段は、前記外部機器とのペアリングがなされている際に前記外部機器から送付された画像データにフィルタ処理を行う

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載の電子機器であって、

前記外部機器の容量と自己の容量との少なくとも一方に基づいて、前記通信手段を介して前記外部機器に指示を行う制御手段とを備える

ことを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明による電子機器は、外部機器と通信を行う通信手段と、通信手段を介して、外部機器から送付された画像データを表示する表示手段と、通信手段による通信状態に応じて、表示手段に表示する画像にフィルタ処理を行う処理手段と、を備えることを特徴とする

。